



オランダではフリーシステムズの赤外線カメラが警察の犯罪検挙率向上に貢献しています

歴史を振り返ってみても、窃盗や強盗などの犯罪の多くは、夜の闇にまぎれて行われてきました。今日でも窃盗の大多数は夜間の犯行です。オランダのZaanstreek-Waterland行政地区警察は、こうした窃盗犯検挙のためにフリーシステムズの赤外線カメラを導入しました。「夜間の犯罪取り締まりに理想的なツールです」と同地区警察の交通犯罪主任Vincent Bodifee氏は説明します。「サーモグラフィのおかげで、夜間や暗所でも視界を確保できます。パトカーに搭載した赤外線カメラFLIR PathFindIRは見えないものを見通すことができるため、犯罪者は逃げも隠れもできません。」

赤外線カメラは、あらゆる物体が温度に応じて放出している赤外線領域の電磁波を記録し、それを可視画像に変換します。赤外線カメラは、照度に関係なく鮮明な赤外線画像を撮影できるため、夜間の視界確保に有効です。フリーシステムズの赤外線カメラを使えば、暗闇、煙、薄霧などを見通して鮮明な視界を得ることができます。

Zaanstreek-Waterland地区警察はテストとしてFLIR PathFindIRサーモグラフィを、フォルクスワーゲントゥーランの新車パトカー2台の屋根のサーチライト用パンチルト台に設置しました。数カ月のうちに赤外線カメラFLIR PathFindIRが犯罪検挙率の向上に役立つことが分かったとBodifee氏と同僚のPeter Van der

Steen氏は言います。

「赤外線カメラFLIR PathFindIR導入プロジェクトは、夜間の窃盗犯を発見するために開始したものでした。」Van der Steen氏は説明します。「この地区では主に夜間に発生する集団での窃盗事件が相次いでいました。」赤外線カメラプロジェクトの主唱者である二人は赤外線カメラFLIR PathFindIRが窃盗犯逮捕の可能性を高めてくれることを期待していました。「窃盗などの犯罪の通報を受けると、できるだけ迅速に現場に向かいますが、犯人を現行犯で逮捕することはなかなかできません。警察が来ると犯人は身を隠してしまうからです。そこで赤外線カメラが役に立ちます。」



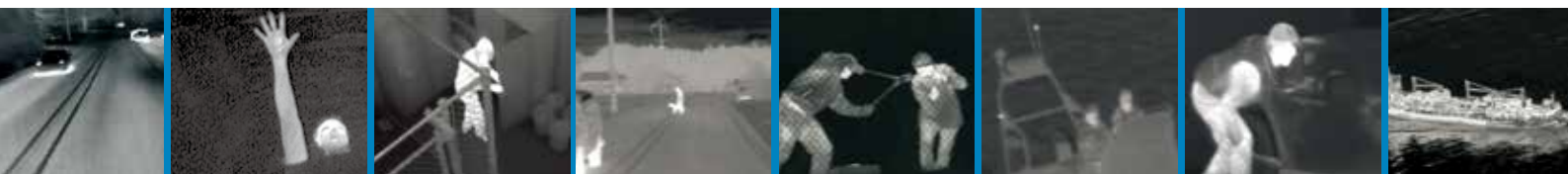
赤外線カメラFLIR PathFindIRはサーチライト用パンチルト台に設置されている



高コントラストの赤外線画像がダッシュボードのTFT液晶ディスプレイに表示される



パン/チルトのプラットフォームはギアとブレーキの横に搭載



暗闇や木々も見通す

「最近の事件ですが、車のホイールキャップを誰かが盗んでいるという通報を受けました」とBodifee氏。「我々が到着した時、犯人はまだ付近にいましたが、木陰に身を潜めていました。暗闇で木々の間にまぎれていたため犯人の姿は我々の眼には見えません。しかし、赤外線カメラFLIR PathFindIRの赤外線画像には、犯人の体温がはっきりと白いシルエットとして映し出されていました。」、Bodifee氏は赤外線カメラFLIR PathFindIRの性能に非常に満足しています。「熱画像には人間も車両も鮮明に映し出されます。さらに、撮影可能距離が数百メートルあるので、距離が離れていても問題ありません。」

長距離撮影に対応

「撮影距離が長いというPathFindIRの特性が活かされたのが、アッセンデルフトで起きた窃盗事件です。」とBodifee氏。「犯人を探して、ハイウェイの高架を横



左から右: Vincent Bodifee氏(交通犯罪プロジェクトリーダー)、Gerard Havik氏(車両技師)、Peter van der Steen氏(車両犯罪プロジェクトリーダー)

断したときにFLIR PathFindIRの赤外線画像に白い点がいくつかあることに気が付きました。近くの草地に窃盗品を持った犯人達が身を隠していたのです。FLIR PathFindIRサーモグラフィのおかげで、警察犬を連れた探索チームに正しい方向を指示でき、最終的には犯人達の正確な位置を示すことができました。これはこのシステムの強みを最大限に発揮できた好例です。」

赤外線カメラFLIR PathFindIRは、GoLight社のサーチライト用パンチルト台に格納されています。パンチルト台はギアの横に設置されたコントローラで操作できます。「パトカーにはすでにサ

ーチライト用のパンチルト台のオプションが付けられており、赤外線カメラFLIR PathFindIRはそこに格納するだけで簡単に設置できました。」

BMWは赤外線カメラFLIR PathFindIRをバンパーに設置

FLIR PathFindIRをサーチライト台に設置したのは、警察の車両技師Gerard Havik氏です。「FLIR PathFindIRを導入するというアイデアは、もともと彼の発案でした」とVan der Steen氏。「彼はBMWがオプションとしてFLIR PathFindIRを車両に設置している噂を聞いたのです。BMWはドライバーの視界補助と状況把握のためにバンパーにPathFindIRを設置していましたが、パトカーに設置する場合は、周囲を見渡せるようにカメラを回転させたかったので、屋根のパンチルト台に取り付けることを決めたのです。」

FLIR PathFindIRが撮影した赤外線画像はダッシュボードの専用フラットスクリーンディスプレイに表示されます。PathFindIRは非冷却型の320x240ピクセルのマイクロボロメーター検出素子を搭載しており、一般的なコンポジットビデオ対応のディスプレイに鮮明な画像を表示できます。メンテナンスフリーで、高耐久設計と堅牢性により、厳しい環境でも安定した動作を実現します。非常に小型(5.8x5.7x7.2 cm)、軽量(360g)で、設置や車両への統合も簡単です。

川の中の放火犯

赤外線カメラFLIR PathFindIRは幅広い事例で活躍しています。「FLIR PathFindIRの映像から放火犯を逮捕できた事例もありました。」とBodifee氏は説明します。「あるとき、ボートの火災の応援を頼られました。既に現場に到着していた同僚によると、放火犯がまだ近くにいる可能性があり、6人のダイバーが川の中を捜索中でした。PathFindIRで捜索に加わったところ、画面から7人が川の中にいることが分かりました。川岸近くの葦の中に放火犯が隠れていたのです。葦の中にまぎれていたため、捜索隊には見つけられなかったのですが、赤外線カメラの赤外線画像では一目瞭然でした。おかげ



FLIR PathFindIRの映像により逮捕された放火犯

で、犯人の位置をすぐに特定し、逮捕することができました。」

「赤外線カメラFLIR PathFindIRが役立つ事例は枚挙にいとまがありません」とVan der Steen氏は付け加えます。「繁華街近くで泥酔した人々が行方不明になったと、捜索を頼まれたことがありました。公園で眠ってしまうと、低体温症で死亡する危険があります。そのときもFLIR PathFindIRのおかげで無事に発見できました。PathFindIRを使って、落書き犯を現行犯逮捕したこともあります。」

百聞は一見に如かず

「PathFindIRは犯罪取り締まりに理想的なツールです」とVan der Steen氏。「FLIR PathFindIRのとらえた赤外線画像の詳細さには驚くべきものがあります。百聞は一見に如かずと言いますが、ご覧になれば納得してもらえます。この地区の犯罪検挙数向上に貢献した数々の事例が何よりの証明です。他地区の警察でもこのシステムの導入を検討したいと問い合わせがきています。」



この2つの赤外線画像は川岸の葦の間に身を潜めている放火犯を示している。暗闇と葦にまぎれているため人間の眼には見えないが、FLIR PathFindIRの赤外線画像にははっきりと映っている。

赤外線カメラに関する情報は弊社までお気軽にお問い合わせください。

フリアーシステムズジャパン株式会社
〒141-0021
東京都品川区上大崎2-13-17
目黒東急ビル5F
電話 : 03-6721-6648
Fax : 03-6721-7946
e-mail : info@flir.jp
www.flir.com